

## 第 6 回 プロセス運営委員会（H28.11.8）の主な意見とその対応について

## 1. ホームページの改善について

主な指摘・意見	回答・対策方針など
・ホームページは情報量が多いので、検索機能を備え、知りたい情報へすぐにアクセスできるようにするとよいのではないか。	・ホームページに検索機能を設置し、アクセシビリティを強化した。（別紙 1 参照） 今後とも、わかりやすいホームページに向けた取組を行っていく。

## 2. 市町村からの要請について

主な指摘・意見	回答・対策方針など
・今後、様々な市町村や市町村議会等から各委員会あてに要請が出てくる可能性がある。その際の対応方法について整理しておく必要があるのではないか。	・市町村会議等を通じて要請に対する対処方針を説明するほか、委員会の位置づけや検討体制等、検討の進め方についても改めて周知していく。

## 3. 資料 2 「構想段階から工事着手までの各段階の役割及び構想段階における今後の検討の進め方について」

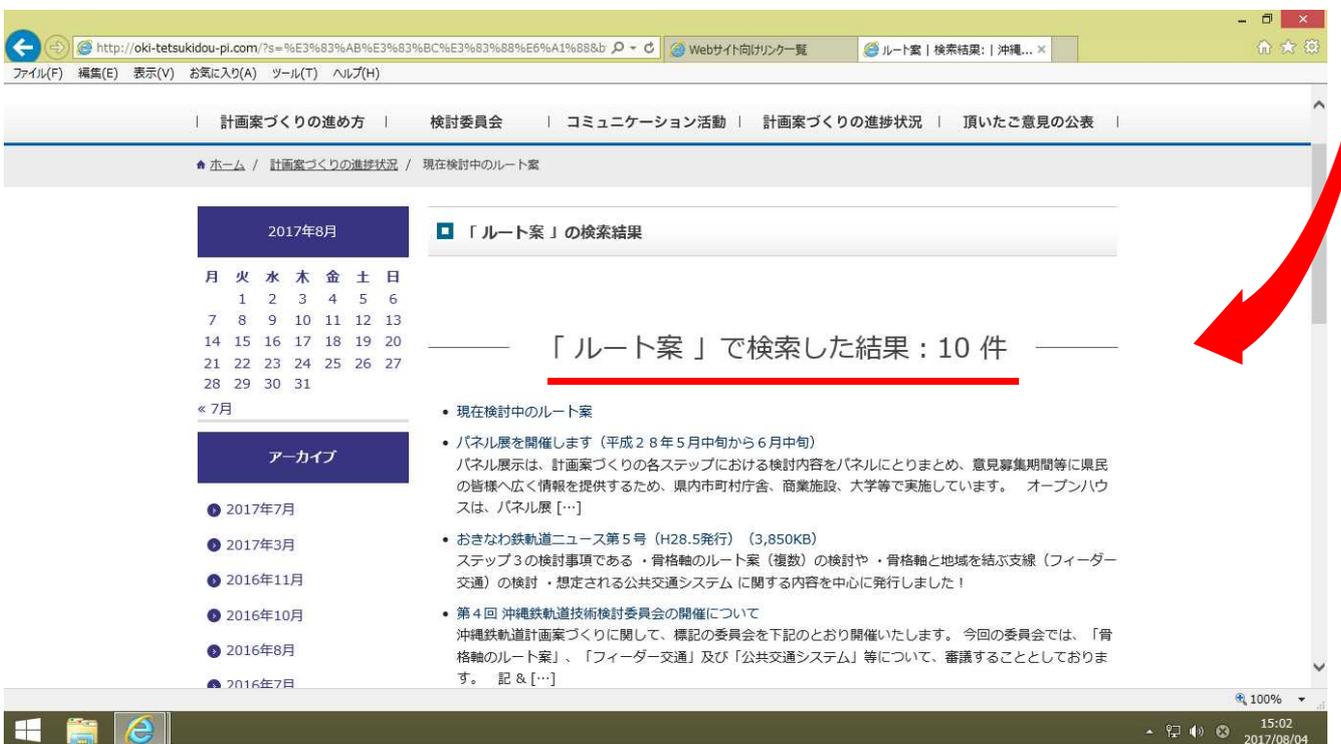
主な指摘・意見	回答・対策方針など
・資料 2 の「1 鉄軌道導入に向けた検討の流れ」で示したフロー図(p1)について、「現在の取組」、「構想段階」という表示が下段に記載されているが、わかりやく伝えるためには、上段に記載をすべきではないか。	・「構想段階」の位置づけをわかりやすくするため、委員指摘のとおり、「現在の取組」、「構想段階」の表示を「県計画案策定」の上部に移動した。（別紙 2 参照）
・資料 2 の「2 各段階における検討・確認事項」中の概略設計・法手続きの段階の検討内容（p2）の中で、法手続きが「①環境影響評価法に基づく手続き」、「②鉄道事業法等に基づく免許取得手続き」、「③都市計画決定」と記載されているが、その他にも関連する法手続き等の可能性もあるので、記載を修正すべき。	・法手続きは代表的な手続きを記載しており、計画段階以降の具体的な検討のなかで、その他の法手続きについても明らかになると考えている。 そのため、その他法手続きについては「など」を追加した。（別紙 3 参照）
・ステップ 5 の「情報提供/意見」については、PC（パブリックコメント）となっているが、最終段階のコミュニケーション活動はより丁寧に進める必要がある。	・ステップ 5 におけるコミュニケーション活動の具体的な方法についても、プロセス運営委員会で審議していただくこととしており、適切に対応していく考え。

主な指摘・意見	回答・対策方針など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県計画案の策定が大詰めになっていくので、県計画案の決定までの流れや専門家の委員会等の役割について周知を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知事、専門家の委員会、県民等それぞれの役割・位置づけについて、引き続き周知していきたい。</li> </ul>

#### 4. ステップ4におけるコミュニケーション活動について

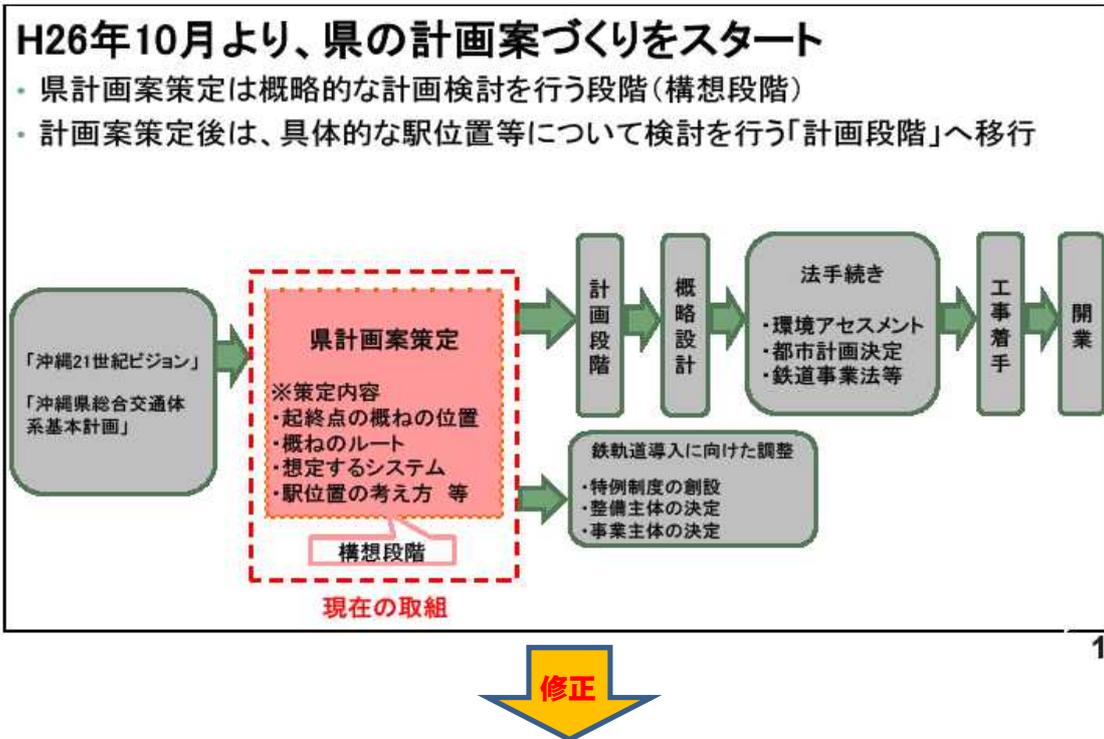
主な指摘・意見	回答・対策方針など
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10代の方々に鉄軌道導入に関心を持ってもらう方法の一つとして、高等学校や専門学校等へニュースレターを配布し、アンケートをいただく方法を取り入れてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の高等学校や特別支援学校、専修専門学校計97校に対し、ニュースレターの配布とアンケートの回答について、協力を依頼した。 (資料4 P7参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・10代の中でも、通勤・通学で沖縄都市モノレールを活用している方々と、それ以外の方々では、鉄軌道導入による効果等のイメージが異なると思われるので、那覇以南の方々への情報提供を重視すべきではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネル展示、オープンハウスの開催会場について、那覇以南でのコミュニケーション活動を強化する観点及び地域別分析の結果、中部・南部地域の認知度が低い傾向にあることから、同地域の商業施設等でのパネル展示を追加した。 【開催会場及び期間の比較】 開催会場：前回55か所 → 60か所(5か所増) 開催期間：前回274日 → 330日(56日増) (資料4 P5、P8参照)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は重要なステップであるので、これまで以上に丁寧な情報提供が必要である。 パネル展示等において、委員会資料等が閲覧できるようにする等工夫が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの方へ意見募集について周知するため、周知ポスターを市町村や高等学校等300か所以上へ配布する。</li> <li>・ニュースレターについては、比較評価結果について十分な情報を提供できるよう、4頁増数する。</li> <li>・パネル展示については、今回の情報提供の主となる比較評価結果について、7つのルート案と評価項目全てを一枚で比較できるよう、サイズを180cm×180cm、従来の約8倍の面積となる特大サイズとする。 ※従来はB2サイズ；51cm×72cm</li> <li>・ステップ4は技術的なものを含め、情報量が多いことから、パネル展示会場においては、アンケートを記入するスペースのほか、委員会資料等を閲覧できるスペースを新たに設置する。 (資料4 P5参照)</li> </ul>

- ・ 沖縄鉄軌道計画案づくりトップページの右上に検索機能を設置。

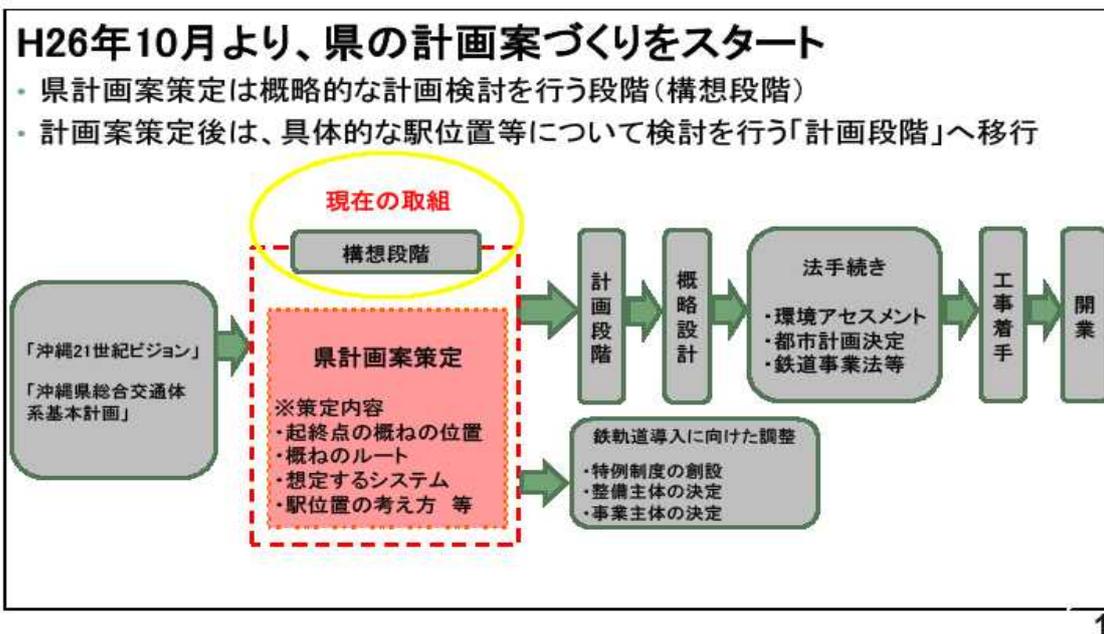


資料2 「構想段階から工事着手までの各段階の役割及び構想段階における今後の検討の進め方について」 より抜粋

1 鉄軌道導入に向けた検討の流れ



1 鉄軌道導入に向けた検討の流れ



資料2 「構想段階から工事着手までの各段階の役割及び構想段階における今後の検討の進め方について」より抜粋

